

宇都宮市 学校 情報教育 だより

～ 児童生徒の情報活用能力の育成やICTの効果的な活用についての情報を紹介します。 ～

夏季研修 タブレットをはじめとしたICT機器の更なる活用促進へ

夏休み期間中、宇都宮市教育センターでは、情報教育に関する研修が3研修、6日間の日程で行われました。この他にも、地域学校園でタブレット活用のためのソフトウェアに関する研修が実施されるなど、昨年度導入されたタブレットが実際に教育現場に根付き始めている様子が感じられました。残念ながら、市内全域から35名超が参加して実施される予定だった学校会場でのタブレットの研修が台風の影響で中止となり、11月以降に延期となりましたが、この夏も多くの先生方が熱心に学び、授業力の向上を目指していました。

ICT活用授業力向上研修

第2日 1～4班 7/27, 28, 8/3, 7

ICTを活用するために必要な知識、技能を習得し、授業力の向上を図ることを目的に、93名の先生方が4班に分かれて機器の演習等に取り組みました。



1班タブレットが導入済みの小中学校13校の先生方からなる1班は、さらなる活用を目指し、ジャストスマイル/ジャンプ、コラボノートについて、じっくりと向き合い、新たな発見のある研修となりました。

2班今年度にタブレットが導入される小学校19校の先生方からなる2班は、導入予定のタブレットに初めて実際に触れて、様々な機能を試して、期待に胸を膨らませていました。

3班次年度以降にタブレットが導入される40校の小学校の先生方からなる3班は、デジタル教科書の活用等で著名な茨城県つくば市立並木中学校の中村めぐみ先生にお話をいただき、授業の一場面を想定し、デジタル教科書をどう生かすかを考える演習を行いました。タブレットを使うことで自然と距離が縮まり、「主体的・対話的で深い学び」に近づくことができました。

4班次年度以降にタブレットが導入される21校の中学校の先生方からなる4班は、体育を専門とする先生方で、スローモーションで再生できるハイスピードデジタルカメラの研修が好評でした。撮影したものを

どう生かすか、課題をもって第3日に臨むことができそうで、期待の膨らむ研修でした。

どの班からも、新たなICT機器を積極的に生かそうとする、先生方の授業への熱い思いが伝わってきました。

講師

茨城県つくば市立並木中学校 中村めぐみ先生

